

サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2013 年冬のボーナスと家計の実態調査」<Part2>

## 主婦の“へそくり”平均額は 417.1 万円(昨冬比+2.5 万円)

**家計の現状は“厳しい”が半数以上**

**家計の今後の見通しは、“楽になる”1割台に対し“厳しくなる”が約 4 割**

**消費税増税で“家計に影響がある”が約 9 割**

**食費節約食材は“豆腐”“もやし”が人気**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)は、全国の 20~50 代のサラリーマン世帯の主婦 500 名(各年代毎 125 名 平均年齢 39.7 歳)を対象に、「2013 年冬のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2013 年 12 月 7 日(土)~10 日(火)に実施いたしました。

今回の<Part2>では、家計の実態調査に関する項目についてご報告いたします。例年発表している「冬のボーナス」などに関する調査結果は、昨年 12 月 19 日に<Part1>として報道発表させていただきました。

今冬は、先日発表させていただいた通り、ボーナス平均手取額が 66.8 万円と、過去 5 年間の最高額になりました。さらにボーナスの今後の見通しについても、調査開始以降初めて「増える」と思うが「減る(+なくなる)」と思うを上回る結果となり、主婦目線でも明るい兆しを感じている傾向が強いです。

その一方で、家計に関しては、現状を「厳しい」と評する主婦が半数以上となり、また、今後の見通しに関しても約 4 割の主婦が「厳しい」と答えるなど、まだまだ悲観的な見方が強いようです。

また、今年 4 月から始まる消費税の増税に関して、家計に影響があると答えた主婦は約 9 割にのぼります。増税への対応策も様々なものがあがっており、今まで以上に家計の引き締め傾向は強まっていく様子が見えそうです。

『夫に内緒の資産』(へそくり)の平均金額は 417.1 万円となり、わずかですが昨冬よりも 2.5 万円増加しました。

第 27 回損保ジャパン DIY 生命アンケート「2013 年冬のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は以下となります。

### 《「2013 年冬のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》

#### <2013 年家計の現状/わが家の生活防衛策>

- 家計が「苦しい」(55.4%→53.0%)は減少するも、依然として“厳しい”という見方が多い。
- 家計の今後の見通しは「楽になる」(15.2%→15.8%)、「厳しくなる」(43.6%→41.0%)と、まだまだ不安な声が多い。
- 世帯の金融資産は「増えた」(25.4%)が「減った」(19.2%)を上回る。1 年間の平均増加額は 104.8 万円。
- 食費節約のための食材は「豆腐」「もやし」が人気！自慢の節約料理は、「豆腐ハンバーグ」「もやし炒め」。
- 消費税増税で家計に「影響があると思う」が約 9 割(88.2%)。その対応策は、“安く買う”などが多い。
- 増税前に駆け込みで買っておきたいものは、「日用品」「パソコン」「自動車」「電化製品」など。
- 心をこめて「おもてなし」したい人が「いる」人は、全体の約 3 割(29.8%)。
- ソチ五輪で日本選手の活躍を期待する種目は「フィギュアスケート」。応援したい選手は「浅田真央」がトップ。
- 夫に内緒の資産(へそくり)の所持率(45.4%→39.4%)は減少したが、所持平均額は「414.6 万円」→「417.1 万円」と増加。

※「昨冬」は 2012 年冬を指します。(○○%→△△%)は、昨冬との比較を表します。

【本件に関するお問い合わせ先】

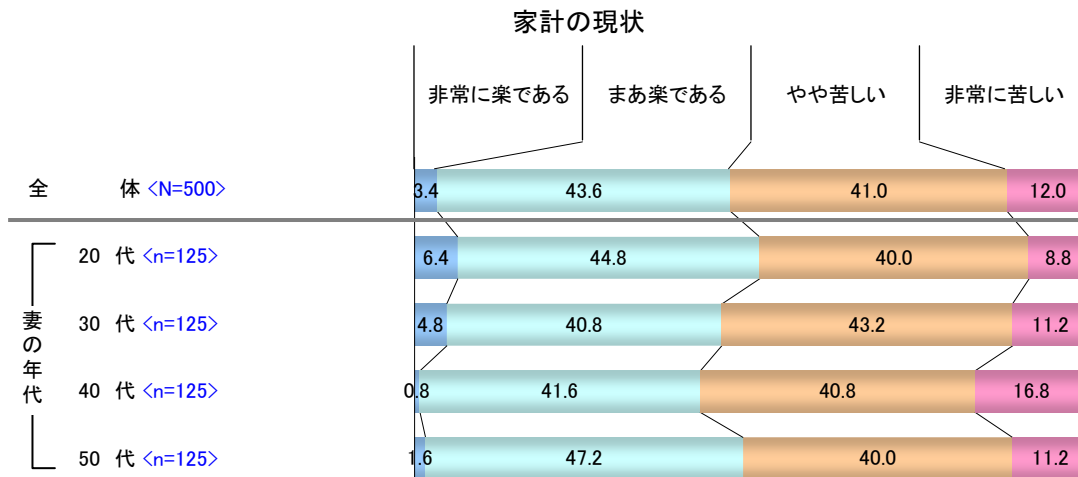
損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社

広報グループ：植松・高月 TEL：03-5437-9026

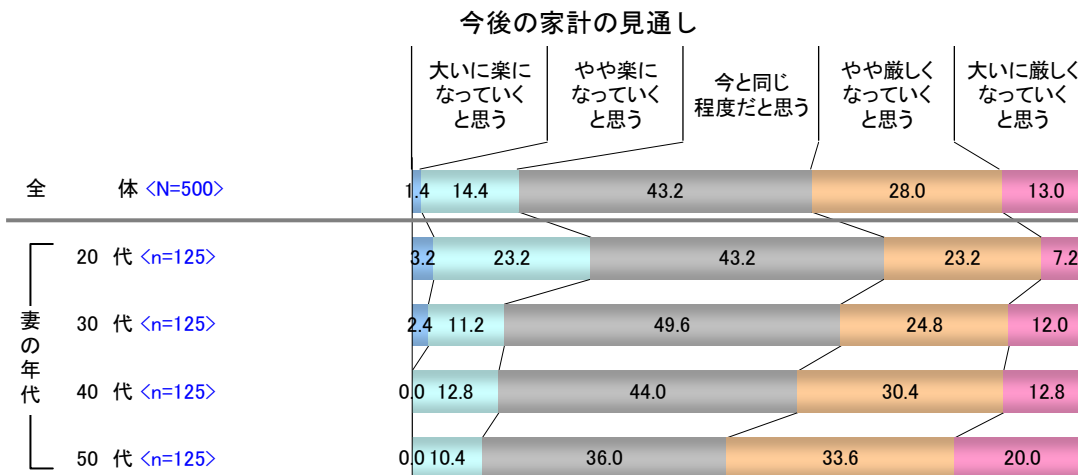
## 《家計の現状と今後の見通し》

現在の家計が“苦しい”（53.0%）と答えた主婦は昨年の 55.4%から減少。

しかし“楽である”（47.0%）という回答の割合を上回り、依然として“厳しい”という認識は強い。



家計をやりくりする主婦が現在の家計をどうみているのか聞くと、「非常に楽である」（3.4%）、「まあ楽である」（43.6%）を合わせた“楽である”（47.0%）という回答は半数以下で、「やや苦しい」（41.0%）、「非常に苦しい」（12.0%）を合わせた“苦しい”（53.0%）という回答がやや多くなっています。やはり、家計が厳しい状況にあるという見方が強いことがうかがえます。

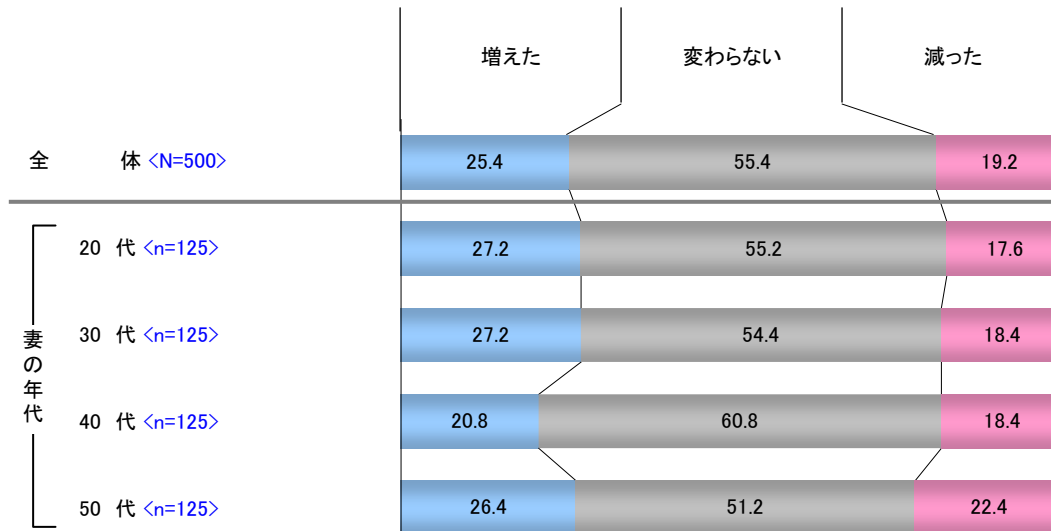


次に、今後の家計の見通しについて聞いたところ、「大いに楽になっていくと思う」（1.4%）と「やや楽になっていくと思う」（14.4%）を合わせた“楽になっていく”（15.8%）は1割台にとどまる一方、「やや厳しくなっていくと思う」（28.0%）、「大いに厳しくなっていくと思う」（13.0%）を合わせた“厳しくなっていく”（41.0%）という見方ははるかに多い結果となり、今後の家計についても悲観的な見方が強いようです。

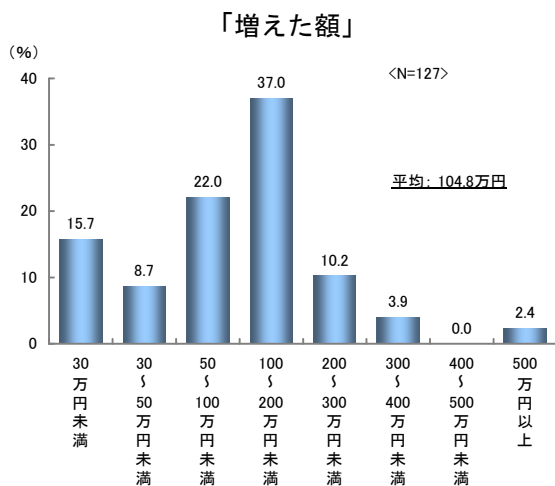
## 《世帯の金融資産の残高の増減》

「変わらない」が半数強（55.4%）を占めているが、「減った」（19.2%）よりも「増えた」（25.4%）方がやや多い。

世帯の金融資産の残高の増減



世帯の預貯金や有価証券などを合わせた「金融資産の残高」が2013年どのように変化したのかを聞いたところ、「変わらない」が半数強（55.4%）を占めていますが、「増えた」（25.4%）と「減った」（19.2%）とでは「増えた」の方がやや多めです。

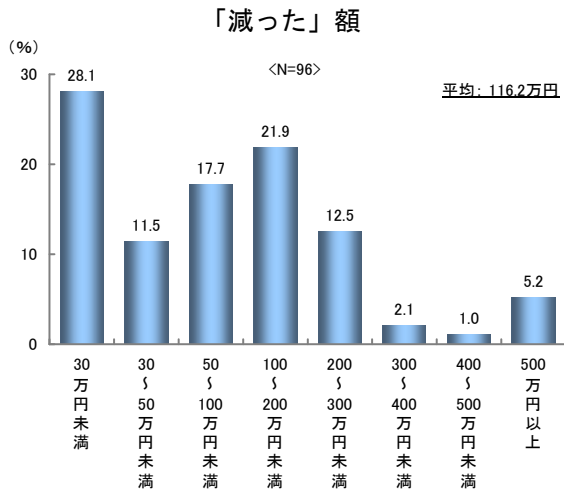


＜増えた理由＞

順位	理由	件数
1	こつこつ貯めたから・定期預金	59
2	節約したから	18
3	株などで運用益が出たので	14
4	ボーナスを貯金したから	7
5	自分も働くようになったので	5
6	昇給などで収入が増えたから	4
	保険の支払い・退職金などの臨時収入があったから	4
8	子供にかかる費用・ローンが減ったので	3
	その他	15

世帯の金融資産が「増えた」と答えた人に、金額を聞いてみたところ、「100～200万円未満」（37.0%）が最も多く、平均「104.8万円」となっています。

その理由は、「こつこつ貯めたから・定期預金」（59件）、「節約したから」（18件）、「ボーナスを貯金したから」（7件）など“貯金した、節約した”という理由が多くなっていますが、株高の影響か「株などで運用益が出たので」（14件）という理由もあげられています。



<減った理由>

順位	理由	件数
1	子供の教育費に使ったから	22
2	収入が減ったため	20
3	車を購入したので	14
4	家の購入したので・住宅ローンに充てたので	9
5	生活に補填したから	6
	旅行や趣味などに使ったため	6
7	冠婚葬祭に使ったため	5
8	入院・出産など医療費が増えたため	4
	その他	17

一方、「減った」と答えた人に、金額を聞いてみたところ、「30万円未満」(28.1%)が最も多く、以下「100～200万円未満」(21.9%)、「50～100万円未満」(17.7%)などの順です。平均は「116.2万円」で、増えた金額(104.8万円)よりも10万円以上高くなっています。

その理由は、「子供の教育費に使ったから」(22件)、「車を購入したので」(14件)、「家を購入したので・住宅ローンに充てたので」(9件)など“出費がかさんだ”という理由が多くなっています。

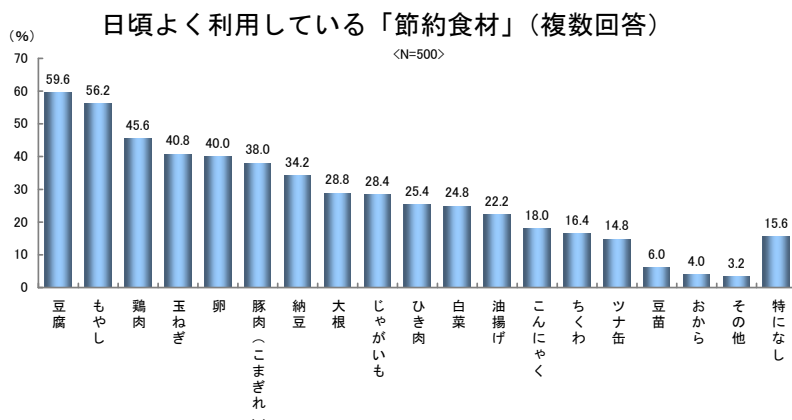
なお、「変わらない」と答えた方の理由には、「ローンや生活費などで貯金できなかったから」(39件)、「収支が変わらないため」(33件)、「収入が増えても支出も多かったため」(23件)などがあがっています。

<変わらない理由>

順位	理由	件数
1	ローンや生活費などで貯金できなかったから	39
2	収支が変わらないため	33
3	収入が増えても支出も多かったため	23
4	生活に変化がなかったため	14
5	元々資産はないから	13
6	貯金に手をつけていないから	9
	特に運用などをしていないから	9
	把握していない・夫がそう言っているから	9
9	金利が低いので	5
	その他	42

**《節約食材・メニュー》**

**節約食材は、「豆腐」(59.6%)、「もやし」(56.2%)が半数以上で多く、以下「鶏肉」(45.6%)、「玉ねぎ」(40.8%)の順。ご自慢の節約料理(メニュー)は、「豆腐ハンバーグ」(34件)、「もやし炒め」(28件)。**



<ご自慢節約料理(メニュー)>

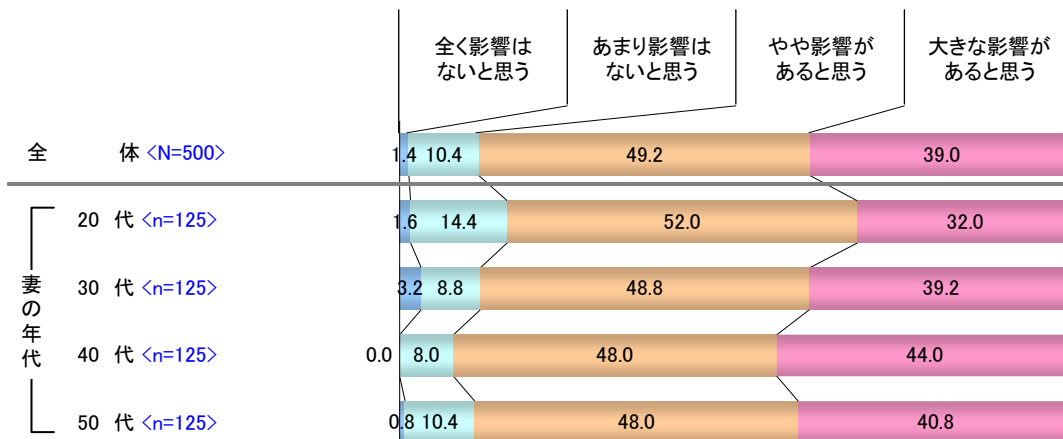
順位	メニュー	件数
1	豆腐ハンバーグ	34
2	もやし炒め	28
3	カレーライス	21
4	余り物で鍋	20
5	野菜炒め	10

主婦が日頃よく利用している「節約食材」は何でしょうか。「豆腐」(59.6%)と「もやし」(56.2%)を半数以上が活用しており、以下「鶏肉」(45.6%)、「玉ねぎ」(40.8%)と続いています。また「ご自慢節約料理(メニュー)」を自由回答で答えてもらったところ、「豆腐ハンバーグ」(34件)、「もやし炒め」(28件)と素材が安価なものや、「余り物で鍋」(20件)といった“余り物”利用の料理などに工夫がみられます。

## 《消費税増税が与える家計への影響とその対策》

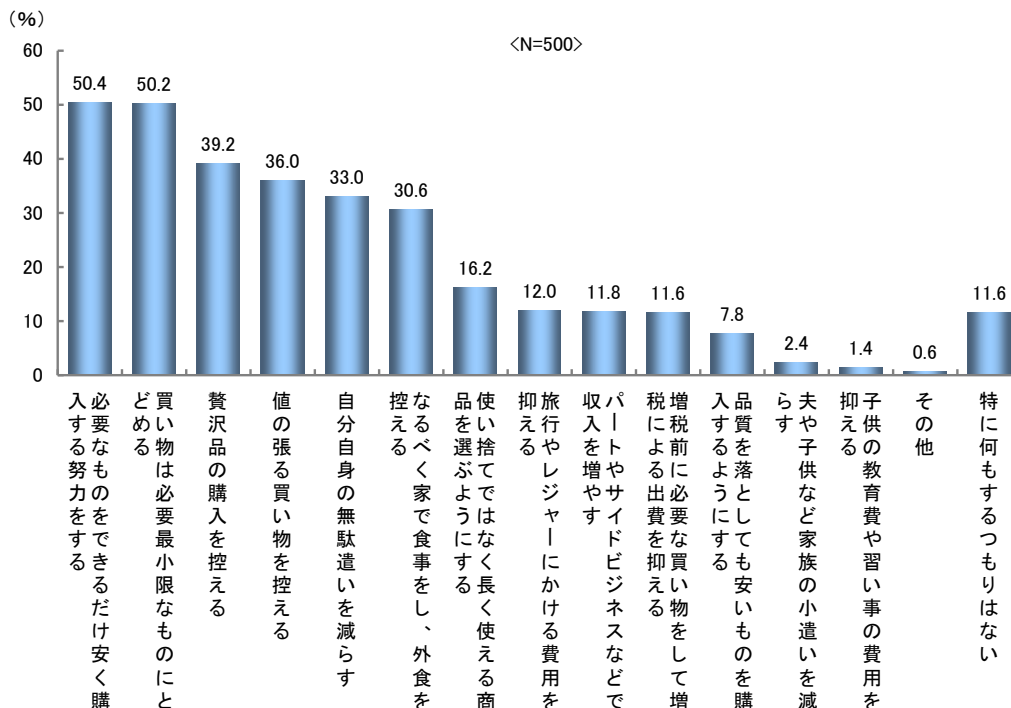
大多数の人が“あると思う”（88.2%）と回答。

### 消費税増税は、家計や消費生活に影響があると思うか



消費税が、2014年4月から8%、2015年10月から10%に上がる予定ですが、この消費税増税は、家計や消費生活に影響があると思うかどうかを聞いたところ、「全く影響はないと思う」（1.4%）、「あまり影響はないと思う」（10.4%）など“ないと思う”（11.8%）という人は1割程度にとどまり、「やや影響があると思う」（49.2%）、「大きな影響があると思う」（39.0%）を合わせた“あると思う”（88.2%）という人が大多数となっています。やはり消費税増税が家計や消費に与える影響は大きいようです。

### 消費税増税にどのような対応しようと思っているか（複数回答）



次に、消費税増税にどのように対応しようと思っているのかを聞いたところ、「必要なものをできるだけ安く購入する努力をする」（50.4%）、「買い物は必要最小限なものにとどめる」（50.2%）という回答が半数以上を占めており、次いで、「贅品の購入を控える」（39.2%）、「値の張る買い物を控える」（36.0%）と続いています。“安く買う”ことや“買い物を減らす”ことが多くあがっており、一方で「パートやサイドビジネスなどで収入を増やす」（11.8%）といった積極的な対応を考えている人もいます。

《消費税増税前に駆け込みで買っておきたいと思うものとその金額》

「日用品」(58件)、「パソコン」(37件)、「自動車」(34件)、「電化製品」(32件)などを買っておきたい。金額的には、「住宅」(1,140.0万円)、「住宅のリフォーム」(215.0万円)、「自動車」(210.0万円)などが高額。

<消費税前に駆け込みで買っておきたいと思うものとその金額(自由回答)>

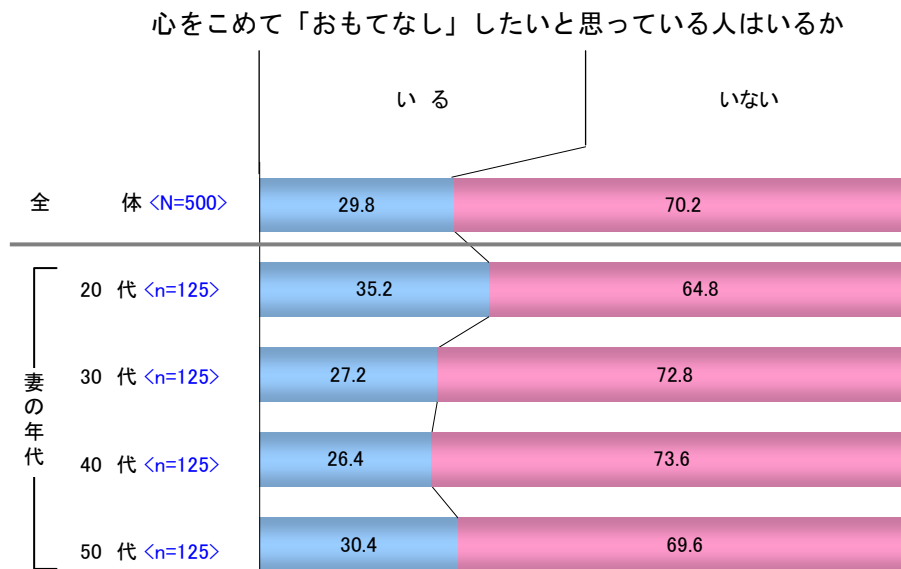
順位		件数	平均金額(万円)
1	日用品	58	1.8
2	パソコン	37	9.4
3	自動車	34	210.0
4	電化製品	32	25.2
5	食料品	23	1.5
6	衣料品、バッグ、靴	17	9.1
	家具	17	28.7
	洗濯機	17	9.4
9	テレビ	16	10.1
	冷蔵庫	16	14.4
11	住宅のリフォーム	14	215.0
12	ベビー用品	12	5.5
13	携帯電話、スマートフォン、タブレット	11	2.9
14	エアコン	9	13.2
15	旅行、レジャー	8	24.1
16	自転車	7	7.5
17	電子レンジ、オーブンレンジ	6	4.8
18	住宅	5	1,140.0
	炊飯器	5	3.6
20	掃除機	4	5.0

消費税増税の実施前に、駆け込みで買っておきたいと思うものを聞いたところ、最も多いのは「日用品」(58件)で、以下「パソコン」(37件)、「自動車」(34件)、「電化製品」(32件)などが続いています。

金額的には、「住宅」(1,140.0万円)、「住宅のリフォーム」(215.0万円)、「自動車」(210.0万円)など高額なものもあげられていますが、「日用品」(1.8万円)、「食料品」(1.5万円)、「携帯電話、スマートフォン、タブレット」(2.9万円)など高額でないものも数多くあげられています。増税前に買っておきたいのは高額商品ばかりではないようです。

## 《「おもてなし」したい人》

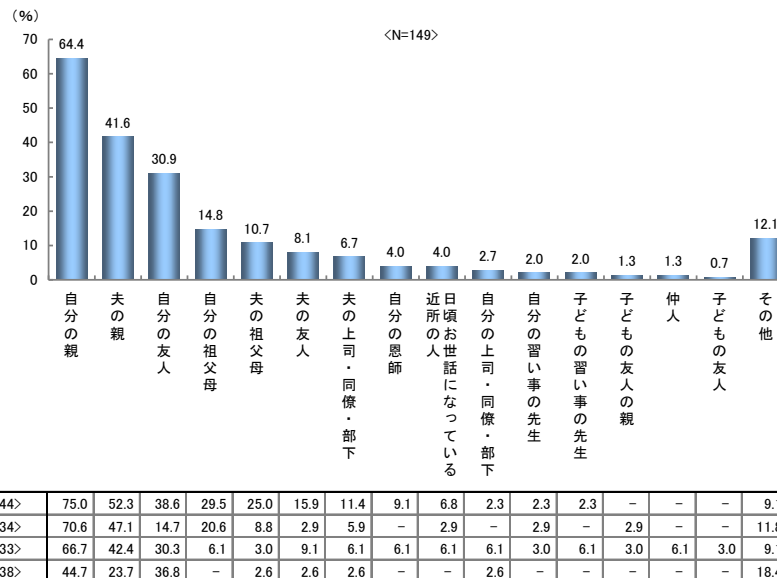
「おもてなし」したい人が「いる」人は約3割（29.8%）。その相手は“親”が1位、2位を占めている。



2020年に東京オリンピックが開催されることが決まり、東京のプレゼンテーションで「おもてなし」というフレーズが話題となりました。

そこで、現在、心をこめて「おもてなし」したいと思っている人はいるかどうかを聞いたところ、「いる」という人は約3割（29.8%）となっています。

## 「おもてなし」したいと思っている人は誰か



では、その「おもてなし」したいと思っている相手は誰なのかを聞いたところ、「自分の親」（64.4%）が最も多く、次いで「夫の親」（41.6%）と“親”が1位、2位を占めていますが、「自分の親」の方が「夫の親」よりもかなり高い割合となっています。

＜どのように「おもてなし」したいか＞

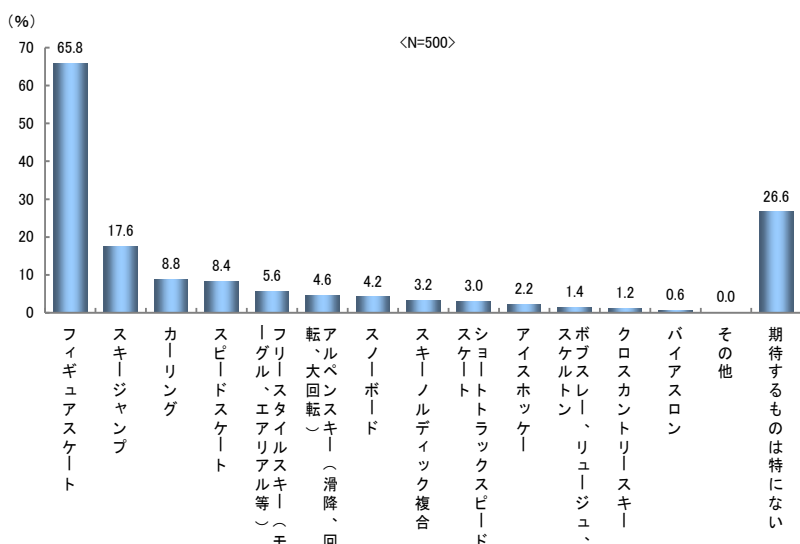
順位		件数
1	食事をふるまう、好きなものを作ってあげる	59
2	旅行や観光に連れて行ってあげる	28
3	プレゼントを贈る	12
4	家などに招きゆったりと一緒に過ごす	11
5	頻繁に会う、連絡をとる	7
	普段から感謝の気持ちをもって接する	7
7	相手が喜ぶようなことをしてあげる	6
	相手を助ける、手伝う	6

「おもてなし」したい人が「いる」と答えた人にどのように「おもてなし」したいかを聞いたところ、「食事をふるまう、好きなものを作ってあげる」(59件)が最も多く、以下「旅行や観光に連れて行ってあげる」(28件)、「プレゼントを贈る」(12件)などの順になっています。

《「ソチ五輪」で応援したい種目・選手》

「ソチ五輪」で日本選手の活躍を期待する種目は、「フィギュアスケート」(65.8%)が圧倒的に多く、次いで、「スキージャンプ」(17.6%)、「カーリング」(8.8%)と続く。また、応援したい選手(チーム)は、「浅田真央」(261件)が圧倒的。次いで「羽生結弦」(39件)、「高橋大輔」(32件)などフィギュアスケートの選手を応援したいという声が目立つ。

「ソチ五輪」で日本選手の活躍を期待する種目



＜「ソチ五輪」で応援したいと思う選手(チーム)＞

順位		件数
1	浅田真央	261
2	羽生結弦	39
3	高橋大輔	32
4	フィギュアスケート選手	11
5	高梨沙羅	9
6	安藤美姫	7
7	上村愛子	5
8	町田樹	3
	女子アイスホッケーチーム	3
	女子カーリングチーム	3
	スキージャンプ選手	3

2014年2月7日、いよいよ「ソチ五輪」がロシアで開幕しますが、日本選手の活躍を期待する種目は何かを聞いたところ、「フィギュアスケート」をほぼ3人に2人(65.8%)があげて圧倒的に多くなっています。以下、「スキージャンプ」(17.6%)、「カーリング」(8.8%)などの順となっています。

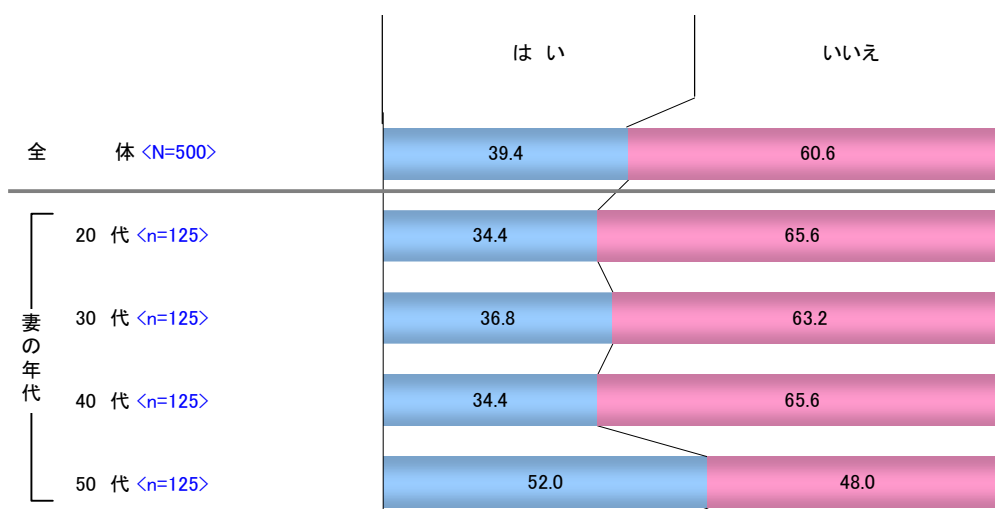
「ソチ五輪」で応援したいと思う選手(チーム)を自由回答であげてもらったところ、「浅田真央」(261件)が圧倒的に多くなっているほか、「羽生結弦」(39件)、「高橋大輔」(32件)、「フィギュアスケート選手」(11件)、「安藤美姫」(7件)、「町田樹」(3件)とフィギュアスケートの選手を応援したいという声が多いのが目立ちます。そのほかでは、スキージャンプの「高梨沙羅」(9件)、モーグルの「上村愛子」(5件)、そして「女子アイスホッケーチーム」(3件)、「女子カーリングチーム」(3件)、「スキージャンプ選手」(3件)といったチームや競技を応援したいとしています。



## 《夫に内緒の資産（へそくり）》

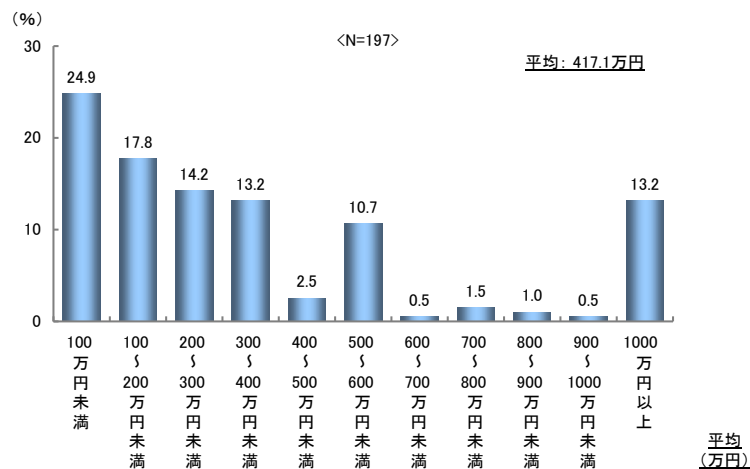
昨冬と比べて所持率は減少（45.4%→39.4%）。  
平均所持額は「414.6万円」→「417.1万円」と増加。

『夫に内緒の資産（へそくり）』を持っているか



サラリーマン世帯の主婦は、『夫に内緒の資産』をどのくらいの割合の人が持っているのでしょうか。『夫に内緒の資産』があるかについて聞いたところ、約4割（39.4%）が「はい」と回答しています。昨冬の調査結果と比べると、保有者の割合は45.4%→39.4%とやや減っています。

『夫に内緒の資産』をいくらくらい持っているか



妻の年代	20代 <n=43>	30代 <n=46>	40代 <n=43>	50代 <n=65>	妻の職業	有職主婦 <n=77>	専業主婦 <n=120>	世帯年収	600万円未満 <n=69>	600～800万円未満 <n=40>	800～1000万円未満 <n=41>	1000万円以上 <n=47>	平均 (万円)
20代 <n=43>	34.9	9.3	11.6	18.6	2.3	7.0	-	2.3	2.3	2.3	-	9.3	410.6
30代 <n=46>	26.1	17.4	10.9	15.2	2.2	13.0	2.2	2.2	2.2	-	-	8.7	413.8
40代 <n=43>	30.2	25.6	18.6	14.0	4.7	2.3	-	-	-	-	-	4.7	194.2
50代 <n=65>	13.8	18.5	15.4	7.7	1.5	16.9	-	1.5	-	-	-	24.6	573.4
有職主婦 <n=77>	19.5	13.0	14.3	19.5	2.6	10.4	1.3	1.3	-	-	-	18.2	586.3
専業主婦 <n=120>	28.3	20.8	14.2	9.2	2.5	10.8	-	1.7	1.7	0.8	10.0	309.9	309.9
600万円未満 <n=69>	34.8	20.3	8.7	18.8	2.9	8.7	-	-	1.4	1.4	2.9	232.7	232.7
600～800万円未満 <n=40>	35.0	10.0	15.0	15.0	5.0	5.0	2.5	2.5	2.5	-	7.5	347.0	347.0
800～1000万円未満 <n=41>	9.8	19.5	19.5	7.3	-	26.8	-	-	-	-	17.1	487.6	487.6
1000万円以上 <n=47>	14.9	19.1	17.0	8.5	2.1	4.3	-	4.3	-	-	29.8	691.6	691.6

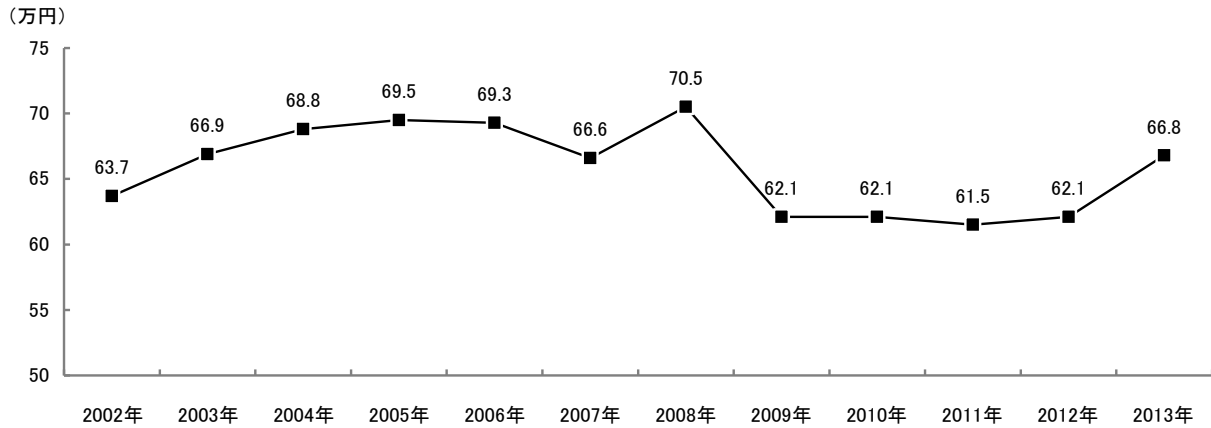
『夫に内緒の資産』を持っている人にその金額を聞いたところ、「100万円未満」（24.9%）が最も多く、以下「100～200万円未満」（17.8%）、「200～300万円未満」（14.2%）、「1000万円以上」（13.2%）、「500～600万円未満」（10.7%）などの順となっています。資産保有者の平均額は「417.1万円」、最高金額は「5000万円」（3件）でした。なお、最も多かった回答は、100万円（29件）、200万円（25件）、300万円（24件）でした。

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『冬のボーナスと家計の実態調査』過去推移

年	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			夫の小遣い		臨時ボーナスをあげたい人(最多回答)	票数	へそくり			家計の苦しさ		家計の今後の見通し		
	平均手取り(万円)	増えた	減った	増える	減る+なくなる+と思う	変わらない	渡した人の平均(万円)	小遣いなしの割合			平均所持率	持っている人の平均(万円)	最高金額(万円)	楽である	苦しい	楽になる	厳しくなる	今と同程度
2003	66.9	24.2%	53.0%	28.4%	39.4%	22.4%	5.3	19.0%	松井秀喜	76票				8.4%	50.8%			
2004	68.8	37.6%	30.8%						イチロー	58票				15.4%	42.6%			
2005	69.5	39.4%	26.0%						レイザーラモンHG	50票	45.6%	241.3	2,000(2名)	43.6%	56.4%			
2006	69.3	40.8%	21.6%				8.8	27.6%	新庄剛志	49票	49.0%	306.3	3,500	47.0%	53.0%			
2007	66.6	36.8%	24.2%				7.4	19.0%	小島よしお	119票	43.0%	245.0	2,000	43.2%	56.8%	16.2%	43.0%	40.8%
2008	70.5	29.0%	34.6%	21.2%	49.6%	29.2%	11.1	37.4%	石川遼	88票	42.0%	461.3	4,000(2名)	38.2%	61.8%	9.2%	59.8%	31.0%
2009	62.1	20.4%	53.8%	23.4%	41.0%	35.6%	7.3	47.4%	石川遼	92票	46.8%	374.3	1億	36.8%	63.2%	11.4%	46.0%	42.6%
2010	62.1	33.8%	31.4%	29.6%	33.8%	36.6%	6.9	42.0%	石川遼	55票	43.4%	308.3	3,500	39.0%	61.0%	13.0%	44.0%	43.0%
2011	61.5	31.8%	29.2%	30.2%	31.2%	38.6%	7.4	46.2%	なでしこジャパン	129票	48.2%	376.1	5,000	41.2%	58.8%	12.4%	42.8%	44.8%
2012	62.1	28.8%	32.6%	23.6%	33.8%	42.6%	11.2	50.4%	スギちゃん	61票	45.4%	414.6	5,000	44.6%	55.4%	15.2%	43.6%	41.2%
2013	66.8	36.4%	21.6%	29.8%	26.6%	43.6%	9.2	46.6%	田中将大	117票	39.4%	417.1	5,000	47.0%	53.0%	15.8%	41.0%	43.2%

注①: 家計の苦しさに関する質問は05年冬より「変わらない」は削除。「変わらない」03年(40.8%)、04年(42.0%)

■冬のボーナスの手取り額（平均手取り額の経年推移）



年	主な使い道											
	1位	金額換算	2位	金額換算	3位	金額換算	4位	金額換算	5位	金額換算		
2003												
2004	預貯金など貯蓄	53.4%	生活費の補填	40.8%	ローン・クレジットの支払い	39.8%	国内旅行・娯楽	23.8%				
2005	預貯金など貯蓄	55.2%	生活費の補填	34.6%	ローン・クレジットの支払い	33.0%	国内旅行・娯楽	25.8%				
2006	預貯金など貯蓄	54.8%	ローン・クレジットの支払い	34.8%	生活費の補填	30.8%	衣料品・服飾費	22.0%				
2007	預貯金など貯蓄	60.6%	ローン・クレジットの支払い	32.2%	生活費の補填	30.6%	衣料品・服飾費	23.6%				
2008	預貯金など貯蓄	64.2%	生活費の補填	37.4%	ローン・クレジットの支払い	36.0%	家電製品の購入	19.6%				
2009	預貯金など貯蓄	68.0%	23.6万円	生活費の補填	47.2%	8.1万円	ローンの支払い	33.8%	9.3万円	国内旅行・娯楽	21.4%	2.5万円
2010	預貯金など貯蓄	70.6%	22.4万円	生活費の補填	43.6%	8.1万円	ローンの支払い	32.2%	8.7万円	プチ贅沢	25.4%	1.9万円
2011	預貯金など貯蓄	75.0%	25.2万円	生活費の補填	44.6%	9.1万円	ローンの支払い	30.4%	8.2万円	衣料品・服飾費	21.6%	1.7万円
2012	預貯金など貯蓄	69.0%	24.8万円	生活費の補填	42.4%	8.9万円	ローンの支払い	29.8%	8.3万円	衣料品・服飾費	19.8%	
2013	預貯金など貯蓄	76.2%	29.3万円	生活費の補填	37.4%	8.6万円	ローンの支払い	28.2%	7.6万円	プチ贅沢	22.4%	2.1万円

注: 主な使い道に関する質問は09年冬より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割